

殿町夜光線において路上駐停車の抑制対策に関する 社会実験を実施します

川崎臨海部の幹線道路の円滑な交通に資することを目的に、令和6年11月29日(金)から約4か月間、市道殿町夜光線の沿道に仮設トラック待機所を設置して待機所の利用状況や路上駐停車の台数等を調査し、「物流業界の2024年問題(※)」の影響を確認します。

また、ドライバーや沿線立地企業に対して、「2024年問題」に関する対策等についてヒアリング調査を行い、あわせて路上駐停車の抑制に関する意識啓発を行います。

(※) 物流産業を魅力あるものとするため、働き方改革に関する法律が2024年4月から適用される一方、物流の停滞が懸念されるもの



写真1 仮設トラック待機所の
利用状況（前回実験時）

1 日程 令和6年11月29日(金)から令和7年3月28日(金)まで

2 場所

- ・実験区間（令和5年度の社会実験で、ラバーポール設置済の区間）
市道殿町夜光線 かわさき南部斎苑前～運輸支局前交差点 上下線（**図1**、**図2**）
（川崎区塩浜3丁目地区：片側 約760m、上下線合計：約1,520m）
- ・大型車誘導場所（**図1**）
 - 1) 市道皐橋水江町線 沿道
デイリーヤマザキ川崎池上新町3丁目店前の大型車駐車場
 - 2) 市道殿町夜光線 沿道（**図3**）
入江崎水処理センター西系施設とかわさき南部斎苑との間の仮設トラック待機所
（川崎区夜光3丁目：仮設トイレ、自動販売機等を設置）
※待機所空き状況は二次元バーコードにより Web で確認できます（**図4**、**図5**）
 - 3) 東扇島地区の川崎市荷待ちトラック待機所 2か所

3 社会実験の目的と実施内容

	目的	実施内容
①	・2024年問題が路上駐停車等へ与える影響の確認 ・仮設トラック待機所の利用実態や路上駐停車の発生要因を把握	・実験区間内に設置する待機所の利用状況や路上駐停車の台数調査等、昨年度データと比較して状況変化を把握（ 図1 ） ・利用者アンケートにより、利用状況や運行ルート等を確認し、路上駐停車の発生要因を把握
②	・待機所の設置や利用に関する意向調査	・待機所の利用者や臨海部立地企業にヒアリング等を行い、待機所の必要性や設置に関する費用負担等の意向について調査
③	・路上駐停車抑制に対する立地企業やドライバーへの意識啓発	・交通管理者と連携した、路上駐停車抑制に係る啓発 ・路上駐停車抑制に向けた企業等への働きかけ・協力依頼



図1 位置図 (実験区間と調査実施区間)

図2 実験区間



図3 殿町夜光線沿道の仮設トラック待機所



図4 立て看板



図5 二次元バーコードと仮設トラック待機所の利用状況 (Webカメラ)

【問合せ先】
川崎市臨海部国際戦略本部拠点整備推進部 石川
電話 044-200-3788